

令和7年度 大瀬中学校経営方針

令和7年4月3日
生駒市立大瀬中学校
校長 久保 文枝

1. 学校経営の基盤 生徒の安全・安心

2. 学校教育目標

優しく豊かな心を持ち、自ら考え行動するたくましい生徒の育成

3. めざす学校像

- 楽しいと思える学校
学校生活が充実し、生徒が目標を持って主体的に取り組む学校
- 優しさのある学校
人を大切にし、笑顔・感謝・思いやりにあふれる学校
- 保護者、地域に信頼される学校
保護者や地域の願いを学校運営に生かし、学校・保護者・地域が連携し協働できる学校

4. めざす生徒像

- 「学ぶ姿勢」を持ち、主体的に行動できる生徒
- 責任を持って行動し、規律正しい生活ができる生徒
- 心豊かで優しくたくましい生徒

5. めざす教師像

- すべての子どもから学ぶ教師
- 教育への情熱と使命感を持つ教師
- 本気で生徒と関わり、信頼関係が築ける教師
- 専門的知識を持ち、魅力的な指導ができる教師

6. 学校教育目標を達成するための基本方針

(1) 学校安全管理体制の継承と確立

- ① 生徒の安全を第一に考えた教育活動を行う。
- ② 生徒が安全に対する意識を高める取組を推進する。

(2) わかる授業、魅力ある授業づくりの推進

- ① 定期的に校内で公開授業や研修を行い、授業力の向上を図る。
- ② ICT 機器等を活用し、主体的・対話的な学びによるわかる授業や魅力ある授業づくりを推進する。
- ③ 少人数指導や、学習補充等を実施し、基礎学力の充実を図る。
- ④ 学校図書館を充実し、読書活動を推進する。

(3)生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実

- ① あいさつを奨励し、生徒の基本的な生活習慣を確立する。
- ② 生徒理解に努めることにより信頼関係を構築し、生徒の心を耕す教育の充実を図るとともに、規範意識と自己有用感を高める取組を推進する。
- ③ 不登校生徒への対応を充実させるなど、教育相談と生徒指導の両面からの生徒理解を深める。また、スクールカウンセラーや関係機関との連携等により、課題のある生徒への対応を充実する。
- ④ いじめの早期発見、早期対応を徹底し、いじめのない学校を目指す。

(4)いのちを大切に作る心や人権を尊重する教育の充実

- ① すべての教育活動において、命を大切に作る心を育成する。
- ② 人権を尊重し、多様性を認め合い、あらゆる差別を許さない人権教育の充実を努める。
- ③ 共に支えあう心を育成し、全校体制で特別支援教育の充実を図る。

(5)保護者、地域との連携

- ① 学校ホームページや各種通信を通して、学校の様子や情報を積極的に公表し、信頼関係を構築する。
- ② 学校運営協議会を核とした地域と共にある学校づくりを推進する。

(6)組織力の向上

- ① 報告・連絡・相談を徹底し、学年を越えてすべての生徒にすべての教職員で関わるために、個人生活カードによる情報共有の徹底を図る。
- ② 教員同士のコミュニケーションを活発にし、互いに高めあえる組織を作る。
- ③ 創意工夫を凝らした新しい教育実践に取り組み、より充実した大瀬中学校を築く。

(7)教職員の働き方改革の推進

- ① 仕事の効率化を図り、業務内容を見直し、超過勤務の減少に努める。
- ② 教職員のライフアンドワークバランスを大切にし、心身ともに健康で働きやすい職場を目指す。